

<妊娠糖尿病，糖尿病を持つ妊婦さんにつきて>

いままで糖尿病と言われたことがない女性が，妊娠中に初めて血糖が高いと言われることがあります。この妊娠中に出現した糖尿病のことを妊娠糖尿病と言います。自覚症状はほぼ認めませんので，検査をしないと見つけることはできません。2010年に妊娠糖尿病の診断基準が制定されてから，なんと妊婦さんの8人に1人くらいが妊娠糖尿病と診断されるようになりました。妊娠糖尿病は珍しい病気ではなく，放置すると，おなかの赤ちゃんが大きくなりすぎて出産時に危険を伴ったり，身体の様々な器官の発育に悪い影響が出たりすることがあります。高齢出産の方や，血のつながった家族に糖尿病の方がいる場合，大きな赤ちゃん（巨大児）を生んだことのある方，太り気味の方などが妊娠糖尿病になるリスクが高い人と言われています。

また，もともと糖尿病を持つ患者さんの場合は，妊娠中だけでなく妊娠前からの良好な血糖コントロールを保つことが，赤ちゃんの発育のために大切です。このような妊娠糖尿病の患者さんや，妊娠している，もしくは妊娠を考えている糖尿病の患者さんには，他の糖尿病患者さんと少し異なる専門的な管理が必要となります。当院では、糖尿病専門医、糖尿病チームの看護師，管理栄養士，薬剤師、理学療法士、視能訓練士、歯科衛生士、臨床検査技師などのスタッフとともに専門的な診療を行っています。